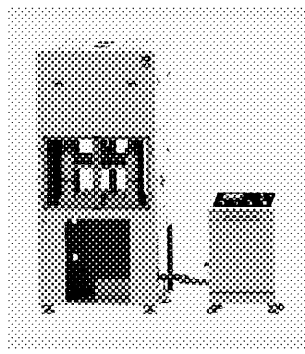


高速クランクで厚板加工

日本オートマチックサーボプレス2種

日本オートマチックマシン(東京都大田区、水野雅文社長)は、毎分600回のプレス加工が可能な高速クランク式サーボプレスを発売した。消費税抜きの価格は1900万円。

同時発売の4柱型フレームサーボプレスと合わせ、自動車・電子機器部品製造メーカー向けに年間100台の販売を目指す。



では対応できない厚い板でも確実に加工できる。1分間当たりのプレス回数も従来機より100回多い60

高速クランク式サーボプレス「RSS1000P」写真は、加圧能力100キロニュートン。同29・4キロニュートン(約3ト)の既存機種

0回とした。大きさは幅1.5メートル×奥行1.5メートル×高さ2.5メートルほどと省スペースで、配置換えが容易にできる。4柱型フレームサー

ボプレス「SBG100ZA」は前後左右の四方が空いているため、周辺装置を組み込みやすく、ラインの自動化が容易で複合的な部品加工もしやすくなる。均一に圧力がかかることで高精度に加工できる。加圧能力は10キロ98キロニュートンで、消費税抜きの価格は740万円。

両製品とも11月5日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開幕する日本国際工作機械見本市(JIMTOF)に出展する。